

れいわ ねんど ぶんかげいじゅつ こどもいくせいすいしん じぎょう  
**令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業**

じゅんかいこうえんじぎょう  
**巡回公演事業**

こうえん  
**オーケストラ公演**

おおさか こうきょうがくだん  
**大阪フィルハーモニー交響楽団**



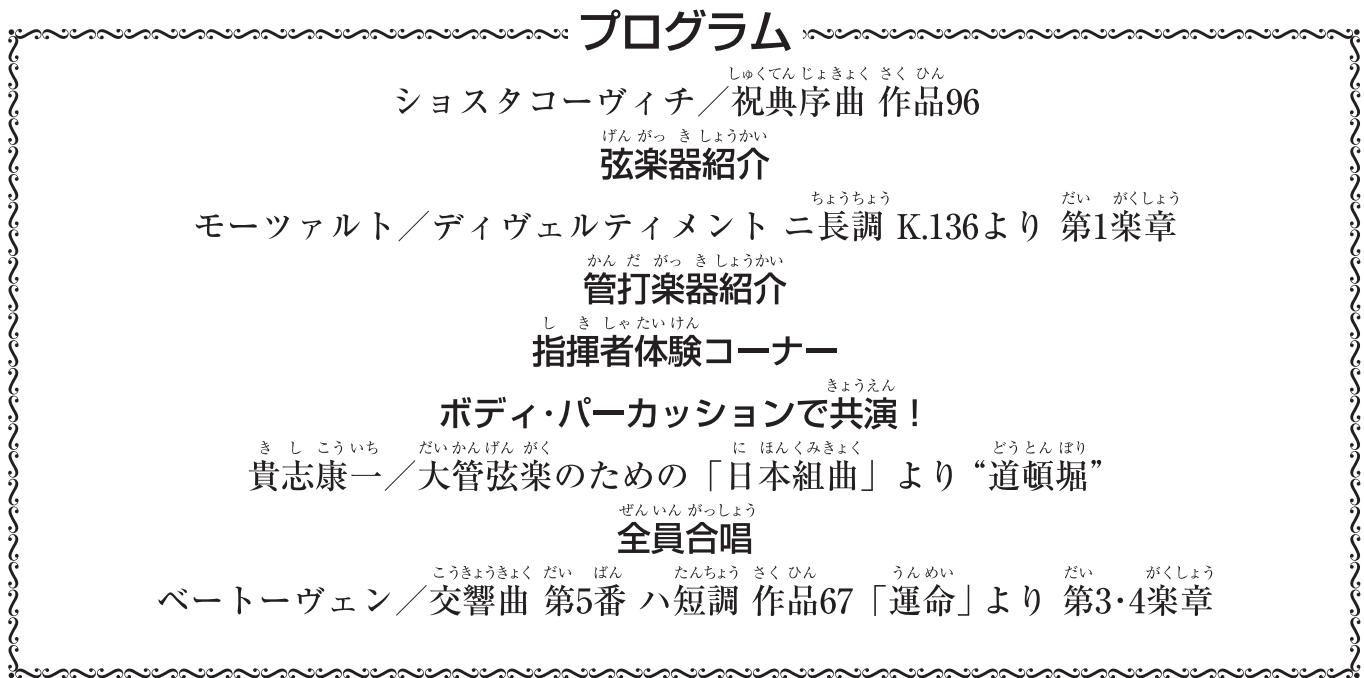
©飯島隆

ぶんかげいじゅつ こどもいくせいすいしん じぎょう じゅんかいこうえんじぎょう  
**「文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－」**

わくにいりゅうぶんかけいじゅつだんたい しょうがつこうちゅうがつこうなど こうえん こどもすぐ ぶたいげいじゅつかんしょう きかい  
我が国の一級の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜん こどもじつえんしどうまたかんしょうしどうおこな じつえん こども  
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。





# プログラム

ショスタコーヴィチ／祝典序曲 作品96

## 弦楽器紹介

モーツアルト／ディヴェルティメントニ長調 K.136より 第1楽章

## 管打楽器紹介

## 指揮者体験コーナー

## ボディ・パーカッションで共演！

貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より“道頓堀”

## 全員合唱

ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第3・4楽章

※学校により一部内容が異なる場合がございます。

## 曲目について

### ショスタコーヴィチ／祝典序曲 作品96

ロシアの作曲家ショスタコーヴィチが作曲したこの作品は、第37回ロシア革命記念日の祝典のために作曲されたものです。吹奏楽版に編曲されていることでも有名であり、現在でも幅広く親しまれています。3拍子にのせたトランペットの華やかなファンファーレから始まり、軽快で活気に満ちた旋律が颯爽と駆け抜けていきます。

### モーツアルト／ディヴェルティメントニ長調 K.136より 第1楽章

モーツアルトは16歳の時に、ザルツブルクでK.136～138の3つのディヴェルティメントを作曲しました。いずれも弦楽合奏や弦楽四重奏で演奏され、このうちK.136が最も有名な作品です。本日演奏する第1楽章はモーツアルトの旋律の中でも特に爽やかな瑞々しい曲調を持った親しみやすい名曲です。

### 貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より“道頓堀”

貴志康一は大阪出身の作曲家で、指揮者やヴァイオリニストとしても活躍していました。大阪を代表する繁華街「道頓堀」の名がついたこの曲は、大阪の街並みや賑わいを音で表現したユーモアのある作品です。人情味あふれる大阪の情景をイメージしながらお聴きください。

### ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第3・4楽章

ベートーヴェンは生涯に9曲の交響曲を作曲し、その中で最も有名な作品が、今回演奏する交響曲第5番です。この曲が「運命」という副題で呼ばれるようになったのは、「ジャジャジャーン」という有名な第1楽章の冒頭を「このように運命が扉をたたく」とベートーヴェンが答えたことに由来しているといわれています。今回は、苦難から栄光へと進む第3楽章と第4楽章を演奏いたします。オーケストラの全ての楽器が活躍するダイナミックな演奏をお楽しみください。

## 〈オーケストラと指揮者〉

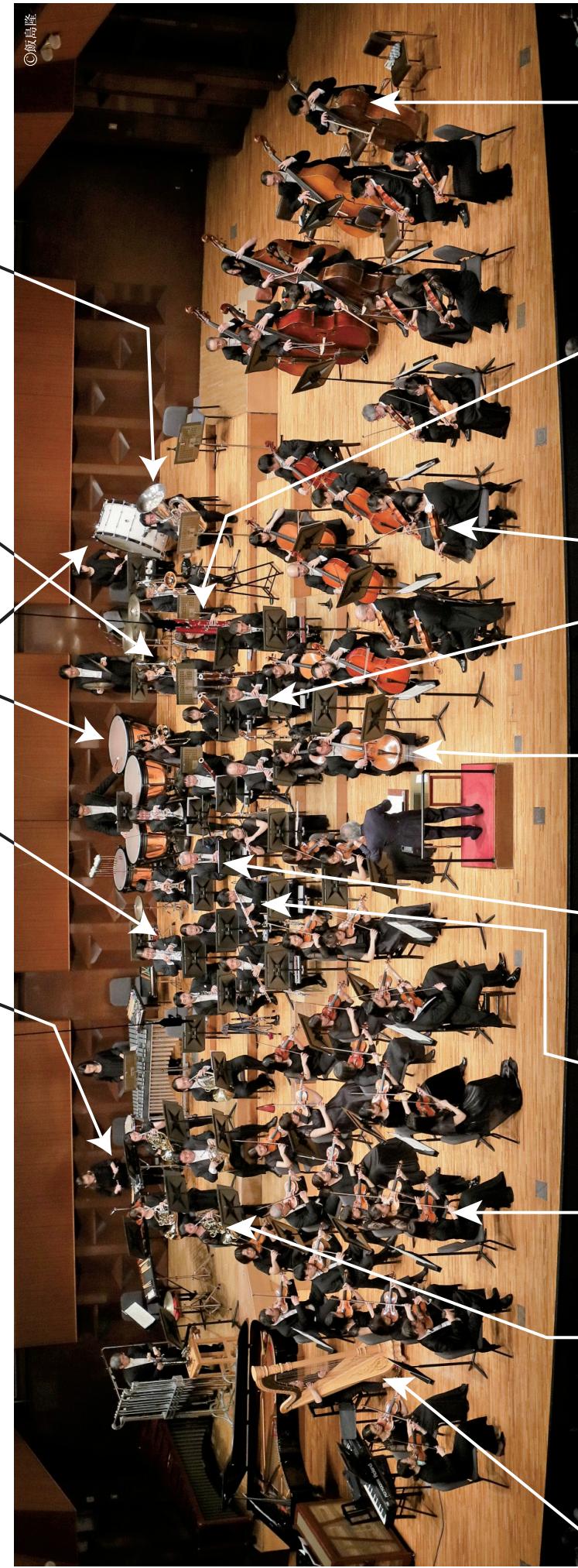
オーケストラには、高い音や低い音、激しい音や柔らかな音など、いろいろな種類の音を出す楽器があります。作曲家は、そうしたさまざまな音の楽器を組み合わせて、色とりどりの絵の具やクレヨンで絵を描くように、音楽を作り出します。そして指揮者は、楽譜に書かれた音符を研究して、作曲家がその音で表現しようとした気持ちを聴く人に伝えるために、オーケストラから音を引き出します。

**パー・カッシュション**  
トライアングルやシンバルなどおなじみのものからめずらしいものまで、数えきれないほど多くの種類があり、音楽に形ります。

**トランペット**  
明るい輝かしい音色のトランペットはブラスバンドなどでも大活躍です。

**ティンパニ**  
いくつかの大ささの異なる太鼓を組みあわせています。客席からは見えないですが、足元のペダルで巧みに音程を変えながら演奏しています。

**チューバ**  
金管楽器最大の楽器です。低くゆたかな音でオーケストラをつつみこみます。



©飯島隆

**コントラバス**  
おとな身長よりも大きな楽器です。低くゆたかな音でオーケストラをつつみこみます。

**ヴィオラ**  
ヴァイオリンとそっくりですが、すこしおよび大きいです。音もすこし低く、やわらかい響きがします。

**チエロ**  
ヴァイオリンやバイオラと同じですが、立てて演奏します。楽器がすくならないようにエンドピンで支えています。

**クラリネット**  
オーボエと同じくリードをつかいますが、こちらは1枚貝殻だけです。音域が広く、表現力豊かな楽器です。

**ヴァイオリン**  
楽器に張られた4本の弦を弓でこすって演奏します。演奏するときには弓に松やにをめります。

**ハープ**  
見た目も音色も優雅な楽器です。弦を指ではじいて音をだします。

**フルート**  
木からなる音のはじめの音あわせはオーボエの音からはじまります。リードといい薄い板2枚を楽器につけて演奏します。

**ファゴット**  
赤っぽい色の大きな楽器です。のどかな音からかなしい音までさまざまな場面で活躍します。

実施日程	実施校名	実施日程	実施校名
6月16日(木) 大阪市立瓜破西小学校		10月4日(火) かつらぎ町立大谷小学校	
6月17日(金) 多賀町立多賀小学校		10月6日(木) 津市立大三小学校	

## 指揮／中井 章徳

岡山県倉敷市生まれ。ジュニアオーケストラでヴィオラとトロンボーンを演奏し、桐朋オーケストラ・アカデミー、キジアーナ音楽院（イタリア）、くらしき作陽大学大学院音楽研究科で指揮を学び、1998年、ポーランドで開催された第21回マスター・プレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞とマスター・プレイヤーズ大賞を同時受賞しました。これまでに札幌響、日本フィル、名古屋フィル、京都フィル、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大阪響、岡山フィル、広島響、九州響などを指揮しています。現在は出雲芸術アカデミーの芸術監督をつとめながら、京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士課程でイタリアオペラを中心に指揮の研究に取り組んでいます。



## オーケストラ／大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年春に、指揮者朝比奈隆を中心として大阪に誕生し、今年創立75周年を迎えました。現在、尾高忠明音楽監督のもと、年10回の定期演奏会を大阪の中心地・中之島のフェスティバルホールにて開催。それ以外にも、全国各地でさまざまなコンサートを、年間100回以上、行っています。また、CDもたくさん発売しています。

<https://www.osaka-phil.com/>

## 知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。